

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	企画総務部
	27006	行政情報提供事業	室名	広報秘書室
	基本施策の大綱	02:市民参画・協働と地域づくりの推進	会計	01:一般会計
	基本施策	06:情報の提供と共有	款	02:総務費
	施策の方向	01:行政情報の市民との共有化	項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目	02:広報活動費	
事業予定期間	H 27 ~ H - 年度		主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	ケーブルテレビを活用し、市の各種制度などの情報をわかりやすく提供するとともに、災害や選挙情報、イベントなど幅広い行政情報を迅速に市民に伝えるため、行政情報提供機器の更新及び文字情報提供機器の一部を更新を行う。また更新に伴い、ハイビジョン画質になることから、映像の特性「伝わりやすさ」を活かし、今まで以上に親しみを持っていただける環境を整える。
概要	平成15年1月に導入した行政情報提供機器は、導入してから12年(24時間365日)稼動しており、機器の製造も終了し、数年が経過している。現在まで同システムは、メーカーの残存部品で保守を継続してきたが、平成27年6月末でリモート保守サービスを終了することが決まり、機器の修理ができない状況となる。市民への安定的な行政情報の提供を目的として、同機器の更新及び文字情報提供機器の一部を更新する。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画		<ul style="list-style-type: none"> ○行政情報番組の制作(52本)及び保守管理 <ul style="list-style-type: none"> ・行政情報提供機器の更新(HD化) ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 <ul style="list-style-type: none"> ・文字情報放送機器の一部更新(HD化) ・文字情報放送機器の賃借及び保守 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブルの賃借 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政情報番組の制作(52本)及び保守管理 <ul style="list-style-type: none"> ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 <ul style="list-style-type: none"> ・文字情報放送機器の賃借及び保守 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブル賃借 	
	計画額	事業費	27,000千円	26,000千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
その他				
一般財源	27,000千円	26,000千円		
予算額	事業費	26,999千円	24,588千円	
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源	26,999千円	24,588千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		53,000千円	期間外事業費(H29以降)② -	
			総事業費 (①+②) -	

			平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	行政情報提供機器の更新(HD化)	計画値	H27.7.1完了	
	補足	保守契約が終了する機器類の更新を実施			
②	名称	年間制作番組数	計画値	52	52
	補足			単位	番組
③	名称	市広報とのリンク回数	計画値	10	10
	補足	広報かめやまで掲載したテーマについて、行政情報番組でも取り上げた回数		単位	回
④	名称	市民参画の番組数	計画値	6	6
	補足	市民活動団体やサークルなど、市民と一緒に制作した番組数		単位	番組

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	企画総務部
	27006	行政情報提供事業	室名	広報秘書室
	基本施策の大綱	02:市民参画・協働と地域づくりの推進	財 会計	01:一般会計
	基本施策	06:情報の提供と共有	務 款	02:総務費
② 実施体系	基本施策の方向	01:行政情報の市民との共有化	科 項	01:総務管理費
	戦略プロジェクト	-	目 目	02:広報活動費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	ケーブルテレビを活用し、市の各種制度などの情報をわかりやすく提供するとともに、災害や選挙情報、イベントなど幅広い行政情報を迅速に市民に伝えるため、行政情報提供機器の更新及び文字情報提供機器の一部を更新を行う。また更新に伴い、ハイビジョン画質になることから、映像の特性「伝わりやすさ」を活かし、今まで以上に親しみを持っていただける環境を整える。
	概要	平成15年1月に導入した行政情報提供機器は、導入してから12年(24時間365日)稼動しており、機器の製造も終了し、数年が経過している。現在まで同システムは、メーカーの残存部品で保守を継続してきたが、平成27年6月末でリモート保守サービスを終了することが決まり、機器の修理ができない状況となる。市民への安定的な行政情報の提供を目的として、同機器の更新及び文字情報提供機器の一部を更新する。

		27年度	28年度
①	名称	行政情報提供機器の更新(HD化)	計画値 H27.7.1完了
	補足	保守契約が終了する機器類の更新を実施	実績値 H27.7.1完了
			単位
②	名称	年間制作番組数	計画値 52
	補足		実績値 52
			単位 番組
③	名称	市広報とのリンク回数	計画値 10
	補足	広報かめやまで掲載したテーマについて、行政情報番組でも取り上げた回数	実績値 17
			単位 回
④	名称	市民参画の番組数	計画値 6
	補足	市民活動団体やサークルなど、市民と一緒に制作した番組数	実績値 6
			単位 番組

年度計画				年度実績				
○行政情報番組の制作(52本)及び保守管理 ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 ・文字情報放送機器の賃借及び保守 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブル賃借				○行政情報番組制作・保守管理業務 年間52番組制作(通常48番組、ダイジェスト版4番組) かめやま情報BOX・特集番組と広報特集記事とのリンク数 17回 市民参画番組数:10回(亀山高校 7回、市内中学校 3回) ○文字情報の提供・保守管理業務 通年で文字情報を放送(イベント・募集情報、災害情報、選挙情報) ○CATV周波数帯域及び光ファイバー賃借業務 市内に敷設されたケーブルを賃借				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額 26,000	予算額 24,588	決算額 24,287	総人件費 ①	5,126	平均給与額×③
		国庫支出金	0	0	0	一般職員人件費 ②	5,126	
		県支出金	0	0	0	所要人員 ③	0.70	
		地方債	0	0	0	臨時職員人件費 ④	0	
		その他	0	0	0	受益者負担額 ⑤	0	
		一般財源	26,000	24,588	24,287	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額	0	0	0		
総人件費			①	5,126				
総コスト			⑥	29,413				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	ケーブルテレビの動画特性を生かして、年間を通じて、市の各種制度・施策やイベント情報、また、地域に密着した話題を含めた行政情報番組を計画どおり制作・放送することができた。特に、市民に親んでもらえる番組づくりのため、継続して高校生や中学生に市民アナウンサーを務めてもらうことができた。 また、年間を通じて、イベントや募集のお知らせを文字情報として放送し、必要に応じて、災害情報や選挙情報についても迅速に文字情報で放送することができた。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	市民に、より一層親しまれる行政情報番組を制作できるよう、市民アナウンサーの活用や地域に密着した情報に関する取材を行う必要がある。また、視聴者に継続して興味を持ってもらえるよう、番組内容のマンネリ化を防ぐ必要がある。 また、平成29年2月に策定した亀山市シティブロモーション戦略の考え方を踏まえ、まちに対する愛着や誇りが高まるような番組づくりを行う必要がある。	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	市民に身近な行政情報番組づくりのため、新規の市民アナウンサーの募集、高校生・中学生アナウンサーの登用のほか、広報やチラシに基づき市民が多数参加するイベントなど取材対象の選定を行う。 シティブロモーション戦略のキャッチフレーズ「住めば、ゆうゆう。」を広く周知し、亀山の魅力を再認識してもらえるような番組づくりを行う。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切
	最終評価確認者: 広報秘書室長 大泉 明彦	